

行 政 報 告

第3回町議会定例会にあたり行政報告を申し上げます。

はじめに、財政関係について申し上げます。

本年度の普通交付税交付額は、8月3日に決定されました。

普通交付税の算定結果は、基準財政需要額29億2,494万6千円から基準財政収入額6億6,507万2千円、調整額201万7千円を控除した22億5,785万7千円が交付額となり、前年度と比較して6.1%、1億3,045万9千円の増額となりました。

次に、新型コロナウイルス感染症の対応について申し上げます。

国は、8月25日、北海道を緊急事態措置区域とし、緊急事態措置を実施すべき期間を8月27日から9月12日までの17日間と決定いたしました。

この決定を受けて北海道では、全道域で警戒レベルを最大限に引き上げ、特に、札幌市など10市町村を特定措置区域とし、人の動きの徹底した抑制に取り組んでおります。

本町としても北海道が行っている措置について、積極的かつ効果的な推進に向け協力し、引き続き感染対策を着実に実施してまいります。

ワクチン接種事業につきましては、長万部町福祉センターを会場として実施した集団接種は、65歳以上の高齢者は6月22日から7月29日まで、12歳から64歳は8月2日から9月2日までの日程で2回の接種を完了しており、集団接種での接種率は、9月2日現在、75.6%で、65歳以上の高齢者の接種率は77.8%、12歳から64歳の接種率は73.4%となっております。

次に、防災対策について申し上げます。

今年度の防災訓練は、長万部町防災の日の7月12日に「避難所における感染症防止対策」をテーマとして、長万部町ファミリースポーツセンターで実施いたしました。コロナ禍のため、各町内会の代表者や関係機

関を対象とし、参加人数を限定しての開催となりましたが、訓練には50名の方々が参加され、避難所マニュアルの説明の後、段ボールベッド、間仕切り用パーティション、毛布、敷きマット等の災害備蓄品を使い、避難所内の居住スペース設置を想定した体験をしていただくとともに、アンケート調査にご協力をいただきました。

今後とも、防災訓練等を開催しながら、地域防災体制の強化を図り、安全・安心のまちづくりを進めてまいります。

次に、長万部町過疎地域持続的発展計画について申し上げます。

過疎地域について、総合的かつ計画的な対策を実施するための新たな法律として、「過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法」が制定されました。

本町は、昭和46年4月30日に過疎地域の指定を受け、法律が改正された折々に、議会での議決をいただき、過疎計画を作成し、各分野における過疎対策の施策を総合的、かつ計画的に実施してきたところであり、このたびの新たな法律の制定に伴い、財政状況やまちづくり総合計画との整合性を図りながら、計画期間を令和3年度から7年度までとした「長万部町過疎地域持続的発展計画」を作成いたしました。

なお、本計画は、パブリックコメントを実施し、法令に基づく北海道との協議についても完了しましたので、計画の策定について本定例会に提案いたしております。

次に、北海道新幹線関係について申し上げます。

現在、町内では5つのトンネル工事が施工中であり、8月1日現在において、掘削中の立岩トンネルのルコツ工区では、本坑5,000メートルのうち延長3,051メートルが、豊津工区では2,060メートルのうち705メートルが掘削されており、また、内浦トンネルの静狩工区は、本坑5,570メートルのうち延長1,739メートルが掘削されております。さらに、豊野トンネル外1箇所では本坑2,105メートルのうち465メートルが、国縫トンネルについても本坑1,300メートルのうち401メートルが掘削されているところであります。

次に、地域おこし協力隊について申し上げます。

9月7日から、地域おこし協力隊1名を新たに採用いたしました。今後、観光推進員として役場の産業振興課などを拠点として地域おこし活動を行います。

町では、合計4名の協力隊員の就業・自立と定住に向けた取組に対する支援を、積極的に行ってまいります。

次に、老人福祉関係について申し上げます。

地域敬老会につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、本年度につきましてもやむを得ず開催を断念し、地域敬老会の開催の代替として、記念品等を配布していただくことにより高齢者の長寿を祝福し、社会に貢献した労をねぎらっていただくよう各町内会等へお願いいたしました。

次に、地域会館関係について申し上げます。

新開寿の家と南栄町老人憩の家を統合した中規模集会施設建設事業につきましては、実施設計が完了し、令和4年度での新施設完成に向けた工事関連費用について、補正予算を本定例会に提案いたしております。

次に、生活環境関係について申し上げます。

山越郡衛生処理組合から引き継ぎました、し尿処理施設につきましては、うちうらクリーンセンター処理棟の解体工事を令和4年1月31日までの工期で実施中であります。

次に、農業関係について申し上げます。

家畜の主たる飼料作物の牧草は、8月15日現在の生育状況調査では、2番草収穫作業が平年よりもやや早く進んでおり、サイレージ用とうも

ろこしの生育状況も平年よりやや早く進んでおります。

生乳生産の1月から7月末までの出荷量は5,675トン、乳代は5億1,273万円となっており、前年同期と比較して出荷量は134トンの減少となり、乳代は1,630万円の減額となりました。

黒毛和牛の1月から7月末までの販売頭数は129頭、販売金額は1億125万円となっており、前年同期と比較して販売頭数は16頭の減少となり、販売金額は1,337万円の増額となりました。

次に、林業関係について申し上げます。

町有林一般造林事業の下刈事業は、共立地区27ヘクタール、静狩地区1.64ヘクタール、平里地区3ヘクタールを8月6日に完了し、春植分の共立地区0.5ヘクタールにつきましても8月6日に完了しております。

森林整備センターとの分収造林事業の下刈事業は、豊津地区20ヘクタールを7月12日に完了しております。

道営事業で進めている森林基幹道豊津・黒岩線の林道整備事業は、5月28日に着手しております。

次に、有害鳥獣駆除対策について申し上げます。

今年もヒグマやキツネ、エゾシカなどに加えて、特定外来生物であるアライグマの出没も見られる状況であり、鳥獣被害防止対策協議会と連携し、今後もヒグマなどの有害鳥獣による人畜及び農林業等への被害を防止し、住民の生活安全を図ってまいります。

次に、漁業関係について申し上げます。

漁業関係全体の1月から7月末までの水揚げ実績は約36億円となっており、前年同期と比較して約15億円の増額となりました。

このうち、ホタテ貝の生産量は14,579トン、前年同期と比較して24.6%増加しております。また、水揚げ実績では約34億円、前

年同期と比較して70%増加しております。価格上昇の要因としましては、新型コロナウイルス感染症の影響による中国等海外の消費低迷が解消されつつあることや、管外から移入された稚貝の生育が比較的良好だったことが考えられます。

ホタテ貝養殖漁業における地場採苗の状況は、6月から投入した採苗器には、多くのホタテ貝種苗が付着しているのが確認されております。しかし、付着したばかりの種苗は、最も弱い時期でもあり、慎重な取り扱いが必要となりますので、各関係機関と連携を図り、生育動向を注視してまいります。

ホタテ貝の稚貝に関する調査研究事業は、国のアイヌ政策推進交付金を活用して、令和元年度から継続事業として実施しております。今年度の事業につきましては、7月16日付けで内閣府より交付決定を受けましたので、長万部漁業協同組合へ事業を委託して、9月中旬から稚貝の管外移入が開始される予定となっております。また、同事業において長万部産ホタテ貝のアイヌブランド化を図るため、長万部漁業協同組合が主体となり、「長万部ホタテ貝アイヌブランド化推進協議会」を8月24日に設立し、長万部アイヌ協会、漁協役員、漁協青年部及び女性部、加工協等町内のホタテ貝に関する従事者が集結し、有効なブランド化への協議を行いながら、商品開発等を進めてまいります。

北海道が事業主体となり、水産物供給基盤機能保全事業で行う老朽化した長万部漁港の保全工事は、昨年度に引き続き岸壁等の補修工事が施工開始されております。また、昨年度に引き続き、静狩漁港防砂堤新設工事も施工されております。同じく、北海道が事業主体となり、漁村再生交付金事業にて行う大中漁港内船揚場等改良工事等についても今年度より施工が開始されております。

次に、商工観光関係について申し上げます。

商工観光全般においては、昨年から続く新型コロナウイルス感染症拡大による緊急事態宣言やまん延防止等重点措置等により、飲食店を中心に影響を受けました。この新型コロナウイルス感染症の影響に対する対策として、町内の商工事業者を対象に、商工会を經由して「緊急事態宣

言に係る臨時給付金」を、申請のあった商工会会員１７５事業所、非会員２２事業所へ支給しております。

商工観光振興の一環として実施されております「おしゃまんべ毛がにまつり」は、昨年に続き中止となりましたが、代替措置として今年もコロナ対策を行ったうえで「毛がに即売会」を開催し、小サイズは例年並みの２ハイ３，０００円で３店舗各３００組を販売、また、新たに中サイズを２ハイ４，０００円で各店舗１００組を販売し、全ての店舗で完売いたしました。即売会を実施したことにより、長万部の毛がにブランドを維持することができたものと考えております。

長万部駅舎内に設置されております観光案内所では、長万部観光協会が、５月に開催された総会において、４月に遡り一般社団法人として運営が始まり、引き続き本町を訪れる観光客のみなさんへの町内観光地の情報提供、長万部温泉、二股ラジウム温泉の案内、飲食店や販売店の紹介等、積極的な観光アピールを行うとともに特産品の販売を行っており、さらなる事業展開及び計画等を検討しております。

また、町内主要団体を構成員とする「長万部町観光地域づくり協議会」は３年目を迎え、今年度は、昨年の新型コロナウイルスの影響により未使用となった国庫補助金の農山漁村振興交付金の繰越分を活用し、道内外へ滞在型観光のＰＲを始め、観光コンテンツの造成など、長万部町が事務局となり行っております。

合宿誘致事業は、長年にわたり長万部温泉利用協同組合が積極的に誘致活動に取り組んでおりますが、昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、全ての合宿がキャンセルとなっております。

次に、建設関係について申し上げます。

建築事業では、町営住宅はまなすシルバーハウジング非常灯外交換工事は工期内に完成しております。その他、各公共施設や町営住宅の修繕工事につきましては、計画的に実施しております。

土木事業では、国の社会資本整備総合交付金事業を活用して実施する長万部町橋りょう点検調査業務委託は、令和４年１月２８日までの工期で

実施中であります。橋りょう点検につきましては、5年に1度の点検が法令により義務化されており、今年度は町道橋78橋のうち13橋の点検を実施してまいります。また、北海道新幹線建設に伴う長万部中央跨線橋撤去調査設計業務委託は、12月24日までの工期で実施中であります。

道路維持関係では、町道中山大通線外舗装補修工事は、11月19日までの工期で、また、管内道路排水等清掃業務は11月26日までの工期でそれぞれ実施しております。その他、道路、側溝等の維持作業等につきましては、計画的に実施しております。

住宅関係では、北海道新幹線建設に伴う町営住宅南部団地移設に関して、現南部団地入居者の仮移転先住居への転居は7月30日で完了しております。また、南部団地の代替団地である町営住宅仮称新南部団地建設工事基本設計業務委託につきましては、令和4年2月28日までの工期で業務を実施中であります。

公園関係では、6月21日より再開したあやめ公園パークゴルフ場は、8月25日の緊急事態宣言が発令されたのを受け、8月27日より町内居住者の方のご利用に限定させていただいております。

次に、公共下水道事業について申し上げます。

公共下水道污水管路カメラ調査外業務委託は、1号幹線系統を10月5日まで、2号幹線系統は11月30日までを工期で実施中であります。

また、終末処理場ポンプ外交換修繕工事は、令和4年1月31日までの工期で施工中であります。

その他、今後予定されている北海道新幹線建設工事に伴い、支障となる污水管移設実施設計委託業務につきましては、令和4年2月10日までの工期で実施中であります。

次に、水道事業について申し上げます。

道道長万部公園線改良工事に伴う水道配水管移設工事は、12月15日までの工期で施工中であります。

また、北海道新幹線建設工事に伴い、支障となる水道管移設実施設計

委託業務につきましては、令和４年２月10日までの工期で実施中であり
ます。

次に、病院事業について申し上げます。

７月から内科嘱託医師１名に替わり、副院長として常勤医師が着任し
診療体制を整えております。

また、新型コロナウイルスワクチン接種が順調に進められていること
から、インフルエンザワクチンの接種を10月中旬から行う予定としてお
り、順次、町広報等でお知らせいたします。

今後も感染防止対策の徹底を図るとともに、地域に根ざした住民から
信頼される病院づくりに努めてまいります。

次に、消防関係について申し上げます。

今年８月末現在までの火災はありませんでした。

救急件数は１９３件で、うち、急病が９７件、交通事故が４件、一般
負傷が２１件、その他転院搬送などが７１件で、ドクターヘリによる搬
送が８件となっております。

８月７日に予定されておりました体験型イベントの、おしゃまんべ消
防フェス２０２１、９月４日に予定されておりました長万部町消防訓練
大会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から昨年に続き中止
としております。

終わりに、本定例会に提案した議件は、条例の制定や一部改正、計画
の策定、各会計補正予算、各会計決算認定など２１件となっております。

議案上程の都度、担当説明員から説明させますので、よろしくご審議
くださるようお願い申し上げ、行政報告を終わります。